

第4回

上野地区まちづくりビジョン策定委員会

日時：令和元年9月6日（金）

14：03～16：10

場所：台東一丁目区民館

地下1階 多目的ホール

【公開用】

午後 2 時 0 3 分 開会

1 開 会

2 座長挨拶

3 議 事

(1) 第 3 回ビジョン策定委員会の振り返りについて

<事務局より資料 1、参考資料 1 について説明>

○座長 前回の議論の振り返りで少し思い起こしていただければいいかと思いますが、何か特に御発言があればお受けいたしますが。——よろしいでしょうか。もし何か後でお気づきであれば、後ほどの議事の中で御発言いただきたいと思います。

<オブザーバーより資料 2-1、2-2 について説明>

<事務局より参考資料 2 について説明>

○座長 関係委員の方から御質問、御意見があればいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○委員 私からは、資料 2-2 の国際会議やシンポジウムというものは結構大きな施設になると思うのですが、これは大体どのくらいの頻度であるということなんでしょうか。これだけのための施設というと結構大変そうな気がするのです。

○オブザーバー これはアンケートで各館から意見が出たものの一つです。よって、今後そういった規模とか施設の内容については検討されるべきものではないかと思います。

○委員 わかりました。まだ具体的ではなくて、意見としていろいろ出た中での一つであるということですね。

○オブザーバー そうです。

○座長 ほかにはいかがでしょうか。

基盤整備部会ではこの資料2-2については御紹介いただいたのですか。

○事務局 基盤整備部会についてはこれからです。

○座長 ここに挙がっているさまざまな施設を仮にこのビジョンの中で受けとめようとする、それなりの空間が必要じゃないですか。限られているエリアの中でどうやっておさめていくかということをやらなければいけないので、先ほど御質問もあったけれども、規模だとか、あるいは純粋にそれが単品でいるのか、併用でも構わないのかとか、いろいろなバリエーションの中身を深めていく議論をぜひやっていただけると良いと思います。

ただ、具体的にホールとかホテルとかというのは、実際には公園の中には少し出来づらい、そういう施設のような気もしますが、そういう理解でよろしいですか。このまちと連携すれば出来る可能性があるというのは、公園の中とか杜の中で必ずしもやれないけれども、ここで何とか実現できませんかと、こういう趣旨で理解すればよろしいですか。

○オブザーバー そうです。

○座長 イコモスの話もあって、なかなか周辺も簡単には手がかからないというか、ワンクッション、ツークッション必要なので、もしその施設がイコモスを大切にしていच्छやるような精神をさらに発現する、そういうものであるとするならば周辺のほうも受けとめ方が随分やりやすいような気もするので、中身についてまた少し具体の話を議論させていただくようなことをお願いできますでしょうか。

文化の杜のほうでは、この先に作業を特に進めるつもりはないですか。一旦ここまでですか。

○オブザーバー 先ほどお話ししたアートクロスとか、またはJR公園口広場とか袴腰というのはいろいろまた今後も議論が必要だと思いますし、そういった対応も計画的にやっついていかないといけないと思うのですが、それ以外にも、ここで出てきた提案については検討していただけたらと思っております。

○座長 では、我々のほうの作業もお返ししながら何度かやりとりさせていただいて、具体的にどういう規模のものが、あるいはどのような組み合わせでやることが可能かどうか、まだ全く空間的にも全てが解けるほどの空間が、余裕があるということではないと思うので、工夫をするということでしょうかね。そういう方向で実行委員会とも継続的にやらせていただくということではよろしいでしょうか。

○オブザーバー はい。

○座長 ほかに何かこの件で御質問、御意見はございますか。——よろしいでしょうか。

それでは、またもし何かあれば戻っていただいても結構でございますので、先に進ませていただこうと思います。

(3) まちづくり部会における検討状況について

○座長 次は「まちづくり部会における検討状況について」ということでございます。これは部会長のほうからお願いします。

<部会長より資料3について説明>

○座長 ありがとうございます。

今の表の一番右に書いてある「該当箇所」というのは、次の資料4と整合しているということですか。

○部会長 はい、そういうことです。

○座長 まちづくり部会でこんな議論がありましたという御紹介をいただきましたが、これが次の話題に反映されているわけですね。

○事務局 そのとおりでございます。

○座長 では、これを説明していただいて、一括で議論したほうが早そうですね。

(4) 上野地区まちづくりビジョン（たたき案）について

(5) 今後の検討の進め方について

○座長 では、続いて資料4の、「たたき案」と書いてあります上野地区まちづくりビジョンについて説明をお願いしたいと思います。

<事務局より資料4について説明>

○岸井座長 ありがとうございます。

今見せていただいた資料の中で、ところどころにグレーの四角が入っているのは、これ

から新しく入るという意味で良いのですか。

○事務局 はい。

○座長 主に写真か何かが入るのですか。

○事務局 写真もまだ用意が整っていない部分がありまして、これから加えます。

○座長 大分書き込みがふえてまいりまして字が多くなってまいりましたが、ビジョンの概略が少しずつ見えるようになってまいりました。

これについて少し御意見をいただきたいのですが、資料5が今後の進め方なので、これも一緒に説明していただいて、それから最後に意見交換としたいと思いますが。

<事務局より資料5について説明>

○座長 あと2回ほどでこのビジョンの成案をつくっていくということでございまして、部会としてはそれぞれまだ継続していただいて、部会でまたこの中身を御議論いただくわけですが、きょうは多くの方が御参集いただいていますので、全体にわたって御意見をいただきたいと思います。

それから、先ほどグレーのところへ後で写真が入りますということでしたが、この作成中というのは具体的にはいつ出てくるのですか。

○事務局 次に基盤整備部会がございまして、それまでにつくりまして、そこでお示ししてまいります。

○座長 大きく抜けている資料4の26ページ、27ページや取組みの方向性を示す方針図のようなものについては基盤整備部会で御議論いただいて、それがまたこの委員会に出てくるということで、これから関係者の方については調整を鋭意進めていただくということかと思います。

○事務局 はい。

○座長 資料4の28ページに、一応ビジョンはつくるけれども、同時にそれを実現する目標のスケジュール感みたいなものを書いてくださいましたよね、短期、中期、長期と。その下に節目ということで幾つか書いてあって、そのさらに下のほうに先ほどの方針のようなビジョンの中身が出ているわけですが、これは具体的にはこのビジョンの検討会としてはどこまで書き込むことになるのですか。この程度で、あとは実行計画のようなものはまた別に行うことになるのですか。

○事務局 実際の具体の事業化のことにかかわってきますので、どの辺まで書けるのかというのが正直なところですが、現時点ではこういった各3つのエリアの取組みの方向性というものを書いていきたいと思うのですが、どれだけ書けるかというのはこれからの検討次第ということになります。

○座長 もし書くとすればどこに入ってくると思えばいいのですか。現段階でまだ記載がないわけだから、これから作成するところにそういうものが読み取れるように入ってくるという意味ですか。

○事務局 今、座長がおっしゃるのは、例えばこれから各取組みの方向性などにそういったことをにじみ込ませていくということができると考えてございます。

○座長 具体的な話で申しわけないのですが、例えば資料4の「取組みの方向性」ということは、14ページ、15ページに杜のほうの取組みの方向性を書いてありますよね。これはそれなりに踏み込んで書いてあるところもあれば、まだどうするのかみたいなものもあるのですが、ここに今の具体的なプログラムみたいなものが入ってくるということですか、イメージは。ビジョンはビジョンでとりあえず終えて、実行計画みたいなものはまた別になるのか、ここにそれを多少なりとも書き込もうということでしょうか。

○事務局 あくまでもこちらはビジョンですので、具体的な事業をどこまで書き込めるかという問題はあるのですが、その辺はまち部会で議論させていただいて、どの辺まで書き込めるかというのは検討させていただきたいと思います。

○座長 もう1つ突っ込んで聞くと、もう来年度の話が多分行政的にはそろそろ始まるのですが、実行具体化計画のようなものは、ビジョンをつくった後も続くのですか。どうされるのですか。

○事務局 ビジョンは今年度策定して、これはある意味まちづくりのスタートといいますが、来年度からこのビジョンを推進していくといった組織を立ち上げていくということをごちやうで想定してまして、そういったところで、こういった進捗や事業化の検討ということもあわせて——事業化の検討というのは個別になると思うのですが、全体を把握していくといったことが、そういうのを見ていく、管理していく組織が必要ではないかということも考えてございます。

○座長 まだ個別の具体施策が全部リストアップされていて、あるいは皆さんの関係する部分で合意形成が終わっていてそれを書くとか書かないとかということまでは、全てを整理するには至らないということでしょうかけれども、できるだけそういうものを書き込め

るならば書き込んでいきたいというのが事務局の方針のようであります。

そういうことを前提にしつつ少し意見交換をしたいと思いますが、いかがでしょうか。御質問でも御意見でも結構でございます。これをもう少しこうしたいとか、こうしてくれとか、この意味は何でこうなっているのだとか、お気づきの点があれば御意見をいただきたいと思います。

○委員 資料4の「上野への期待」の、まず8ページで「時代の要請」というところで、向こう30年間の要請にしては、観光が増えるとか、自動車は長期的かもしれないけれども、時代の要請というより今現在とか向こう5年とか10年ぐらいしか見ていないような気がします。例えばいろいろな技術とか、さまざまな上野の位置づけとか、特に技術革新が期待されている中でどのようにやっていくのかとか、そういうことを含めた深みのあることを盛り込んでもらいたいというのがまず1点です。

次の9ページで「上野への期待」、「上野に対する人々の期待」で、杜のプレーヤー、まちのプレーヤーと、まちを動かしている供給者側の意見のみで、これは多分いる人たちの理想とか夢とかいう話であって、いわゆる期待というと普通は周りから上野を見る人、要するに観光で来る人とか買い物に来る人とか、そういうこととミックスして話す話なので、この(2)の「上野に対する人々の期待」というのは言葉として適切ではないと思います。

○座長 ここに書かれている杜のプレーヤーとまちのプレーヤーだけで、来街者とかそういう視点が全く入っていない。

○委員 普通、上野に対してこうあってほしいというのは、やはり来街者の人たちで、多分マーケティング調査をやられているので、その辺の内容とかを記載してはどうでしょうか。

○座長 御意見はわかりましたか。

○事務局 はい。ありがとうございます。

今2点あったかと思うのですが、技術革新とかAIとか、多分そういったことだと思うのですが、そういったことについては少し漠然と記載していますので、今の御意見について検討させていただきたいと思います。

もう1点、上野への期待ということで、調査の結果の概略をこちらに載せておりますが、そういったことも含めて調査させていただいておりますので盛り込みつつ、また、先ほど部会長から御報告していただきましたが、さらにワークショップをやり、また、これまでのまちづくり協議会や観光連盟といった周辺のかかわっている方にもヒアリングをしつつ、

そういったことも盛り込んでいきたいと考えてございますので、今これは途中経過ということで受けとめていただければと思います。

○座長 おっしゃるとおり、これは拡充したほうがいいですね。

○委員 もう1点いいですか。資料4の16ページと17ページの「取組みの方向性」というところで、今回はビジョンだけでとりあえずまとめるということだったので。

まず、インフォメーションセンターというのが、迎え入れる案内・交流の場をつくるというのは、それはそれで非常にいい話ではあるのだけれども、全体の比重からいってでか過ぎるというか、やたら細かく書いてあって。例えばまちの景観やにぎわいのルールづくりというところで、例えば副都心上野まちづくり協議会で話に出ている道づくり的な、道路空間を東京駅の近くの仲通りみたいな感じの道路がどこかにできたらいいとか、20年、30年後かもしれないですが、中央通りも例えば銀座の中央通りみたいにガードレールとか植栽を変えたりとか、そういう道路空間の中身も少しずつ美化していくとか、そういうことも含められたり、あるいは都市計画等がまち④の中に全部凝縮されている割には扱いが少し小さかったり、全体のバランスをもう一回見直してもらいたいと思います。

○事務局 ありがとうございます。

資料4の「取組みの方向性」の内容が、ビジョンとiiつつ具体的なものを想起させるものであり、表現もバランスがとれていない部分もあるという中での御指摘だと思いますので、その辺は事務局のほうで今の御指摘を踏まえて改めて整理したいと思います。

また、まち④のいろいろなルールづくり、景観とか道路空間とかいった御指摘だったのですが、これもまちの価値を向上していくということでルールをつくっていくのですが、道路でいえば、道路の本来の使い方というのがあった上でのいろいろな規制の緩和ということだと思いますので、そういったバランスのとれた書き方など、今、委員のおっしゃっている部分も改めてまちづくり部会などでご報告させていただいて、この内容をブラッシュアップしていきたいと思います。

○座長 箱のボリューム感とか絵の大きさだとか、そういうのもよく注意しなければいけないし、よく見てみると確かに例として書いてあるものと、例なのか例でないのかわからないけれども「社会実験」と書いてある部分や、先ほどの短期、中期、長期の具体化計画をどこまでこの中で表現できるかという話とも絡むのですが、比較的短期でやれそうなものは書きやすいけれども、中期、長期はなかなか書けていないという。そうすると、短期のものがあるところはいっぱい出てくるけれども、中長期のものは減ってきてしまうみ

たいな、バランスが崩れているのではないかという御指摘でもあると思います。

でも、この項目ごとに一体何を実際にやるのかというのは、一旦はつくったほうが良いと思うのです。これがどこまで皆さんの合意がとれてどこまで書き込めるかは別ですが、この方針を立てる以上は方向性に応じて、この方向性のこれは短期的にはこれを頑張ってみようとか、そういうのを一旦は整理してみたらどうですか、書ける範囲で。それで、抜け落ちがないとかバランスを見て。そういうことを全部ここに最後書き込むかどうかは別にして、次年度以降そういう新しい仕組みを動かして実際にやろうと思ったら、当然そういうことをやらなければならないことになるわけじゃないですか。方向性を決めておいてあとは何も書かないというわけにはいかなくて、方向性を出した以上、その方向性に向かって何をするのかを整理しなければいけないのではないのでしょうか。

だから、ここに書いてあることも一旦整理していただいて、例を書くのか書かないのかも含めてバランスがうまくとれるように見てもらうといいと思います。一旦項目ごとに整理してもらったものの中で関係者に見ていただくと、これはすぐには無理だとか、具体的にこう書いてあればより現実感が湧いてくるというか、例えばこの3年間で一体何をすれば良いのかという話のはっきりしてきて、役割分担もはっきりしてくるので、それがこのビジョンに載るか載らないかは別にしておいても、作業としては一遍やってみるというのは大変意味がある気がします。その上で、最後の表現のバランスはよくとりながら整理していきたいと思います。ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。

○委員 先ほど、資料2-2の中で、「まちと連携すれば実現できる可能性があること」ということで、公園周辺街区におけるホール整備、国際会議やシンポジウムを開催できる規模ですとか、その1つ下の段に宿泊施設でホールとかホテルと書いてありまして、この規模感とか、公園の中だけでつくることは物理的には難しいというお話があった中で、資料4の14ページの〈杜②-1〉に一部記載があって、また、19ページの〈杜まち④-3〉にそういう記載があるのですけれども、そのボリューム感みたいなことを考えたときに、16、17ページのまちのほうで例えばホテルだとかバンケットがあって、それがMICEに利用できるということも考えられるので、記載を入れたほうがよろしいのではないかと思います。

○座長 まち部会ではそういう議論はまだ出ていないですよ。本日の実行委員会さんからの御提案で、まちと連携すればできる可能性があること、新たな導入機能についてこう

いうのを頑張ってもらえませんかというのを具体的にどの場所でやれるのかということについては、今それがどこに書いてあるかということとも関係するのですが、まち部会にはまだこれは出ていないですよ。

○事務局 まだまちづくり部会で説明していません。

○座長 まちづくり部会でも議論していただき、基盤のほうでも可能性について、どこに可能性があるかと、御要望はあるが、なるべく受けるように努力はするけれども、その受け方についてはまたよく調整しないといけない。まちのほうで受けとめていただけるならば、それはそれでまちのほうにちゃんと書けばいいし、まちでなかなかこれは難しいというのだったら、どこかでやれるところに書くということしかないのですが、少し議論してもらって。結局3つに書いてあると、それは3つで頑張るってやるという話になるわけで、最後項目ごとに書くけれども、並びは幾つかあるけれども、結局束になってやっているということですよ。3つのゾーンが束になってやるということなので全域で頑張るってやるという話だから、そういうのが多分出てくるのだと思います。

例えばサイネージの話などもありましたが、あれはまさしく3つでやらないと、個々ばらばらにやってもしょうがないから、各場所に多分出てきてしまうかもわからないですよ。ただ、まちはまちとしてそれが重要事項かどうかというのはまた別なので、バランスを見ながら書いてみるけれども、先ほど言ったとおり、一旦は実際にやれることの整理を横並びにしてみて、その上で最後ビジョンとしてはどこに書くのが一番いいのかというふうに振り返るというのを作業としてはやっていたかということではないでしょうか。

ほかにはいかがでしょうか。まとめなければならないのですがもう残りあと2回しかありませんので、本日ぜひ御意見をいただければ、それを次回までにこういう方向で整理してくださいということを決めていきたいと思います。関係部署のほうから、これは少し何とかならないかという御要望があればぜひお願いしたいと思います。

○委員 私のほうで少しわかりづらかったのが、並び順なのですけれども、資料4の14、15ページで杜の話をされていて、16、17ページでまちの話をされていますね。それで一度まとめるような記載が18、19ページにあるのですけれども、その後また22、23ページは杜の話が出てきて、24、25ページはまちの話になってきて、これがどうも前の14、15ページの杜の話を具体的な場所に示したのが22、23ページになっている。であれば、その後にあったほうがいいのかと思います。同じような話

題を二度見ているような気がするのです。だから、あくまで杜の話をするならした上で、まちの話をして、それを統合したのがどうなるというように、そういう二度繰り返しになっているのをもう少しまとめたほうがいいという気がします。

○座長 いかがでしょう。

○事務局 ありがとうございます。委員おっしゃるとおり、なかなか見づらい部分があって、統合することも視野に構成も考えさせていただきます。

○座長 ごもったもな御意見だと思うのです。資料4の「取組みの方向性」という大きな枠の中に文章と図が両方入っているのですね。それが、文章が先に3つあって、図が後で3つあってとなっているから、それならば一緒にして、文章、図、文章、図、文章、図のほうがわかりやすいのではないかというのはごもったもな気がします。

○事務局 ありがとうございます。

○座長 ほかにはいかがでしょう。

○委員 今お話しされたことですが、大変多様性のある上野だからこそ資料がそうなっているのだと思うのですが、非常によくまとまっていると思っております。

その中で一部、前も意見がいろいろありましたが、外から見て上野がどうかというイメージみたいなものが、私はテーマとして「払拭」というのを出しているのです。いろいろな方に聞くと、上野は行ったことがないと言う人もいますし、また、行く必要もないみたいなことを言われて、渋谷だとかああいうところに若者は行くけれども、やっぱり古いというイメージとか、山、杜で押しておりますけれども、文化施設がいいと言っているもまだ来ないところがあるから、そういった面ではどのように見られているかという調査をもう少し、この近辺エリアではなくて、新宿、渋谷、品川方面からとってもらいたいという気がしています。

そこで、具体的に何をやっていくかという、交通面も非常に有利性もありますので、そういった点で、流入量というか、人の観光コースとかルート案内。来たいという気が湧くためには、目標物が明確になればいけない。先ほどの「文化の杜」のお話の中に、我々もいろいろ提案しておりますけれども、動物園の案内板だとか、今度、袴腰から正面ですが、そこから左へ入ったところに弁天門口がオープンしまして、パンダ舎がそちらに行くのです。2020年に「パンダのふるさとゾーン」というのが出来まして、これはもちろんシャンシャンもありますけれども、そういう効果があって流れが生まれてくるというものもありますので、そういった流入案内看板をもっと増やすとか、そういったことも

大いにしてほしいと思います。

スクランブル交差点の件も私どもは推進しております。それから、まちと杜をつなぐその正面をどうしても袴腰に持ってきて山とまちを接点にするということを希望しております。非常によく進められて、別に私は文句を言う部分は何もないのですが、多様性のある上野をよくここまでまとめて。ただ、本ですから、冊子にした場合にわかりやすく、ここを今後行く。それから、今現在はこうある。そして、絶対もっと強く打ち出してほしいのは、他地区にはないこの上野の歴史性です。江戸から明治への移り変わりの舞台がこの上野の山だった。戊辰戦争、上野戦争、ここから始まっていて今現在上野があるという。そういったことは将来の発展に向けて必ず損なってはいけない部分だと思いますので、その歴史性というのを強く打ち出して、これをもっと身近なものに接せられるような、体感できるような形。今、デジタルサイネージとかいろいろなものがありますが、最終的には案内機能というものになってくるので、観光拠点のセンターも必要ですが、そういった部分での人の流れのスムーズさといいますか、そういったものをつくれば。人工的につくられたという言い方は悪いけれども、渋谷とか新宿とか池袋とかそういうところにはない、上野にしかないあれだけの敷地を持っている上野公園の有利性というのをもっと生かして外にPRしていきたい。それから、外国人の方にここで見られる江戸、明治、大正、昭和、そういった歴史の軸をここ1カ所で見られるような、そのようなすばらしい地域であるということをもっとPRしてほしいと思います。

○座長 具体的に資料4の6ページとか7ページみたいなところをもっと強化するのですかね。アピール度がいま一つじゃないかという感じなのでしょうね。

○委員 外からの方にね。でも、大変だと思いますよ。でも、私、見ていて、非常によくできたなと感心はしているのです。

○事務局 ありがとうございます。

わかりやすさということもそうですし、歴史という重要性というのも、今、座長がおっしゃったように、資料4の6ページ、7ページあたりをもう少し充実するといったこともあろうかと思えますし、また、9ページのところで、多様性ということだと思っておりますが、もう少し上野を取り巻く周辺の地域の人たちの声ということ、東京だけではないのですが、他地域の方々の上野に対する声というものも昨年度ブランディング調査の中でさせていただいて、かなりかいつまんだ記載をここでまとめ切ってしまうので、ここでは東京の23区だけではなくて、仙台や愛知、大阪といったところもサンプルで設け

ておりますので、そういったこともこの中に入れる工夫をさせていただこうかと思えます。今の御意見をしっかり捉えてブラッシュアップしたいと思えます。

○座長 まとめ方なのですが、ビジョンとしてはこれで出ると思えますが、このぐらいのほうはわかりやすく、読みやすくいいなと思うのだけれども、例えば過去もいろいろ調べたりしていたじゃないですか、データ類あるいはさまざまな資源を説明する資料など。ああいうのは何も使わないのですか。別途別冊か何かをつくりませんか。

○事務局 これは本編ですけれども、例えば、今、座長がおっしゃったような資料編とか、これに附属する資料であわせて出していくという方法もあるのかと思えます。ちょっとしたアイデアなのですが、そういった積み上げてきた資料というものをもう少し有効に使っていくということも必要なのかなと思えます。

○座長 あるかもわかりませんね。これの使い方にもよるのですが、これをみんなで共有しました、これに向かって頑張るこれからやっていきたいと思います。先ほど言ったとおり、実はこの方向性と書いてあるものはこういう取組みが実はその裏にあって、それを短期中期それぞれに誰がどういうふうにして、まちはどうするのだ、杜はどうするのだというのが何となくその裏にあって、それをみんな見ながら実はこれを共有してやっているということで使うということも大いに意味があることだし、それから、上野のことを余り見ていない方、御存じない方が上野ってどうなるのだといったときに、これをひも解くと上野がもう少し深く読めてきて、上野はこう変わるのだなということがアピールされるという使い方もありますよね。それによっては見せるものも少し違うかもわからない。

ここにいらっしゃる方は、そういうある種のベースを共有しながら次の話をしているのだけれども、同時に、上野ってこうなるのだよと見せるときには、上野の持っている資源そのものも説明しないと初めに見る人にはわからないということかもわからないから、少し工夫が要りますね。ちょっと考えてみたいと思えます。多分それは、いずれ出てくるインフォメーションセンターとか書いてあったけれども、ああいうものにも関係するのですよね。そこでつくったものが結局使えるとかいう話にもなってくるわけで、せっかくここでいろいろ議論したものの材料は消えないようにストックをちゃんとしておくほうがいいですよ。ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。何か御発言はありませんか。

○委員 これは実際かなり不十分なところがたくさんあるのですけれども、ボリューム感というものは大体この程度ですかね。資料編をつくるという今のアイデアは私も大賛成な

のですが、だとすると、委員がおっしゃっていたように、ちょうど部会が2つ動いていたことのデメリットみたいなのが出てしまって、わかりにくいのかなど。ずっと見てみるとわかりやすいのだけれども、ただ見たときに、並走的で、実際に何一つとってもこの地域というのは杜の取組み、まちの取組みがオーバーラップしながら、連携ということが非常に強いと思うので、その辺がそこに収斂できるようなビジョンとなっていると。要するに、内容としてはすごくいいと思うのですがけれども、ナビゲーションという意味では、これができた後、どうやって、誰が、これを使って何をするのかといったときの一つの指針というのは、ビジョンとは少し違うのかもしれませんが、そういうところで、最後のところに多分なると思うのですが、「将来像の実現に向けて」でそこが統合されていて一致して、2つ分かれてやっていたけれども1つだよねというところに結びつけられると、すごく内容としては次につながりやすいのかなというところで、そこはこれからどのくらいやれるかというところだと思うのですが。

○座長 確かに、まちと杜があってそれを融合させるというコンセプトでいきましょうねとやってきて、そういうふうを書いてあるのだけれども、最後総覧したときにどうなっているのだというのを重ねて見ると、上野って将来これだよねというのがまだこの中には一般の方向けにもないといえないですよ。パーツ、パーツで書いてあって、全部読み通せばわかるけれども。最後の「将来像の実現に向けて」のところなのかもわからないし、その前なのかもわからないけれども、総括的なものがもう少し要るのかもわかりませんね。ちょっと工夫してみましようかね。

○委員 今さらここまで来てこれを言うかという感じで大変恐縮なのですが、今までのお話とも関係することなのですが、統一的なロゴデザインとかサイネージをつくろうという文言自体は杜のほうでもまちのほうでも何度か出てきていると思うのです。最終的に一体感ということは言っているのだけれども、その最後の絵が見えないという話もある。もしかしたらワンピースとして、本当にもう時間が限られているのが、そこまで拙速にやるのがいいかどうか僕も非常に迷いますが、例えばここで一つ統一的なロゴとかキャッチコピーとか、何かそういうのに類するものを最後に載せるという可能性はあり得ますでしょうか。

○座長 問題は、いいのができるかどうかだよ。時間との関係もありますしね。

○委員 時間との戦いであろうということは重々承知の上で申し上げているので、無理なら無理ということも十分あるだろうとはもちろん思っているのですが、最後にそれを示せ

たら、全体としてこれだというような何か一言もしくはデザインというものがあつたら、今までの御意見を集約できるかなという気もしたのですが。

○座長 もう一回、次までの宿題にしますか。

○事務局 ありがとうございます。以前からそういった御指摘もあつたことを承知しております。事務的なことを言うのはさておき、重要な御指摘だと思いますし、委員の御指摘にも絡んでくることだと思いますので、事務局のほうで検討させていただきたいと思ひます。

○座長 ほかにはいかがでしょうか。

他に御発言はよろしいですか。

○オブザーバー 公園というのは当然空間がございまして、いろいろな使い方ができる、していかなければいけない場所だと思うのですが、一方で結構いろいろ使い込まれている場所でもあつて、いろいろなものを新たに入れていこうというときにはいろいろな課題が出てくる場所になってございます。そういった意味で見たときに、この上野地区全体の価値を高めていく、魅力を高めていくという中で公園がいろいろな役割を引き受けなければいけない部分もたくさんあるのだらうと思うのですけれども、公園もあり、まちもあり、つなぐ空間もあつて、そういう中でこの地区としていろいろな機能が必要だとなつたときに、ではその機能を公園の中に入れることがその地区を高める中で最も効果的なのか、逆にまちにあつたほうが全体としての価値を高めることに効果的なのかといったような議論なども少ししていただけると良いという気がしました。

特に、先ほど例えばホテルの議論などで、杜にも書き、まちにも書き、つなぐところにも書くとなると、じゃあ何なのかなという感じもするので、少しそういったところもぜひ、全て決められないまでも手がかりになるようなことだけでも少し盛り込んでいただければなと思ひます。

○座長 このビジョンに最後それを書き込むかどうかというのは別にしても、おっしゃつたように、具体的に何をやるのだということについて、せつかく集まっていらっしゃる関係機関の皆さんがちゃんとした合意をある程度持つて来年度へ向かつて進んでいくというのが絶対に必要なことだと思いますので、それを全部このビジョンに書き込むかどうかは別ですけれども、この方向性に向かつてやるということは内々こういう合意を持つてやっているのだということをもんがが持つていれば方向性は間違わなく進んでいくわけなので、そこのところを決められないままいくと、方向だけ書いてあるけれども、やることはばら

ばらになってしまうというのもまずいから、もう一工夫、もう一息頑張っ、やれることはちゃんとやろうね、ここはみんなでもうちょっと考えようねというのを事務局は整理したほうがいいですよ。

他に何か御発言はありますか。

○委員 先ほどから議論があるように、資料4にどこまで書き込むかはまた別途調整させていただきたいと思うのですけれども、具体的にどういうことをやっていくのかというところをお互いにある一定程度は方向性が合っていないとまずいと思いますので、もう少し具体的な話を、部会でもいいですし、個別でもいいのですので、させていただきながら、26ページとか27ページ、本日、書いていないようなこのページのところにどのように、本音部分というか、お互いに書いたのはこういうことで、ただここにはこう書きますというような、そんな議論を今後させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○座長 ぜひよろしく願いいたします。

他に何か御発言はありますか。

○委員 マネジメント体制の構築というのが杜ですとかまちですとかそういったところに記載があるのですけれども、具体的にどういった方たちでそれを組織して、何をマネジメント体制の中で決めていくのかというところは今後の中で、このビジョンの中にどのように書くかはありますが、お示しいただくとありがたいなと感じております。

○委員 この委員会に当初のころから携わらせていただきまして、事務局にはこれだけの膨大な情報を一つにまとめていただいて本当にありがとうございます。大変だったのだろうなと思っております。

当社は、今年の3月に駅のリニューアルが完成しまして、今、地下通路のリニューアルを進めているところでございまして、上野周辺のリニューアルが一度これで完成するところになります。ただ、それが終わりではなくて、この後この10月のダイヤ改正では空港直結の特急の本数を今の1.4倍と、これは当社でも過去にないぐらいの規模で増発するのですが、今後、上野の受け入れ体制については当社としても進めていかなければいけない。

そういった中で、行政からまちから一緒に上野をこのようにまとめていこうというところで示していただくと、駅長以下駅で実際に働いている人間がこういった形でお客様、まちに来る方たちを迎えればいいのだなというのが非常にわかりやすくなっていくのかな

と思いますので、こういった形でまとめていただいて本当にありがとうございますということをございますという
ことをここで発言させていただきます。

○座長 ハードなものをつくったり、あるいは維持していったり更新したりするわけですが、同時に、先ほどエリアマネジメントの話が出ましたけれども、ソフトな活動として今あるものを使ってできる範囲はどこまであるのだというのは、引き続き関係者で集まって、しかもそれがばらばらにならないようにしてうまく動かしていくというのを、このビジョンを契機として進めていければ大変意義があると思いますね。頑張りましょう。

他に御発言はありますか。

○オブザーバー 上野地区を対象として議論されている内容を見て、本当に膨大な情報を事務局が取りまとめているのだなということをお勉強させていただきました。

皆さんもう言い尽くされているようなことをもう一回言ってしまうようになりますけれども、本当に盛り込む機能がなくて、途中でありました新構想なんて私も拝見をしたり貴重な議論を聞いたりしたのですけれども、アンケートの話だけに限らずいろいろなものを盛り込まれていたもので、整理していくのは本当に大変だなと思います。

さらに言えば、実務的には、さっき座長が御指摘されたイコモスの関係だとか、あとはオブザーバーがおっしゃっていましたが、公園の機能はオープンスペースとして置いておくという機能もあるので、いろいろな機能を盛り込んでいくときに大変な整理が要ってくるのかなと。それは今回のビジョンでオープンになるものもそうではない整理も一回つけたほうが、これは今後のこの上野地区というものがこの資料4の中で表現された回遊性みたいなことも含めてポテンシャルを発揮していくものになるのかと思って、すごく勉強させていただきました。ありがとうございます。

○座長 ありがとうございます。

他に御意見があればいただきますが。

○オブザーバー 確かに公園の各館から出ているアンケートの中には共通したものが結構ありまして、展示スペースということであったり会議場であったりということの要望が多いのです。ホテルもその一つなのですが、西洋美術館の世界遺産のバッファゾーンがどこまで持っていけるのか。そういうことを考えると、どうしても上野公園の中というのは新しい建物というのはなかなか無理だろうなと。その境のところ、まちと境のところまでどこまでやれるのか。公園に来た人たちがそこも同時に行ったり来たりしながら文化を楽しむということが出来る環境になるのか、そこが一番重要なストーリーづくりだと思っております。

ます。

○座長 何か周辺でやろうと思うと、イコモスの同意というか了解も得ながらやらなければいけないので、ここでやろうとしていること自身が上野の杜の全体をよくするプロジェクトであるということをしっかりと説明できるようにしていきたいと思うし、ぜひ上野の杜の皆様からもイコモスの皆さんにぜひこれはこういうことでやっているのだということをお伝えいただけると、いろいろなところでお伝えいただけるといいと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

○委員 本日のお話をずっと聞いていましたが、非常にわかりづらくて、そして大きい話ということですね。東上野地区にどれだけの影響があるのか、少し心配しております。

前回いろいろお話を申し上げたのですが、まだ一向にその返事をいただいております。そういうことから考えますと、小さな話ですけれども、私どもの地区のまちづくり委員会をもう三十何回かにわたってやっておりますし、また、区役所とか警察とか消防とかが入っております地域のまちづくりは私ども連合町会ですけれども、2町会のまちづくり計画といったものもやっております。

本日のお話を聞いていまして、私が言うことは小さなことですが、ぜひ皆さんに今後の方針をお聞きいただければと思いますので、次回でも結構ですが、よろしく願いします。

○座長 その辺は何か事務局からお答えしますか。

○事務局 ありがとうございます。

東上野地区は、区役所等が立地しており、公共機関が集積した地区でございます。資料4がわかりづらいという御指摘もいただいて、おっしゃる部分はあると素直に思っております。また、今、東上野地区につきましては、区役所を中心にまちづくりの地区計画を都市計画決定して、その次のステップに入らせていただいているところでございます。そういった中で、このビジョンでどこまで書けるかというのはあるのですが、このビジョンとどう整合をとっていくのかといったところもわかるようにしていかなければいけないのかなと思っております。

例えば17ページの「まちを育て、まちをひろげる」の方針ですが、まち③-1の「商業・業務・宿泊・住宅等の多様で質の高い都市機能の導入」、この辺が東上野でやろうとしていることにかかわってくるのですが、なかなかこれだけでは読み取れないとか読みにくいといったこともあろうかと思っております。この辺は、今の座長の御指摘を踏まえて、どのように工夫ができるか、こちらのほうで考えてみたいと思っておりますし、また個別に伺わせて

いただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○座長 ビジョンとしてどこまで書けるかという議論と、ビジョンを受けて実際に何をするのかということについては、関係者の方と十分に話し合いをして共通の理解をしておかないといけない。先ほど来出ている、これからやることについては、この中に書くか書かないかは別にしても、皆さんで同じ方向を向いてやるのだということの確認がとれるようにはしておかなければいけないですね。よろしくお願いいたします。

予定時間を超えておりますが、最後に何か特に御発言があればお受けしますが。——よろしいでしょうか。

では、本日はこの程度にさせていただいて、次は11月の予定です。余り時間がないのですが、最後の詰め段階に来ていますので、資料4に書かれていないことも含めてさまざまに御相談に伺うと思いますので、ぜひ御協力をよろしくお願いいたします。

では、お返ししたいと思います。

○事務局 ありがとうございます。

今、座長のお言葉にありましたとおり、次回の策定委員会は、基盤整備部会、まちづくり部会の進捗を見つつ、11月ごろに開いていきたいと考えてございます。詳細は追って申し上げますし、また個別に御説明に上がらせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4 閉 会

○事務局 以上をもちまして第4回上野地区まちづくりビジョン策定委員会を終了させていただきます。御協力ありがとうございました。

午後4時10分 閉会